

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	越谷市役所新庁舎	階数	地上8F
建設地	埼玉県越谷市越谷	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	800人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2019年2月9日
敷地面積	15,567㎡	作成者	梓設計
建築面積	5,597㎡	確認日	2019年2月9日
延床面積	25,018㎡	確認者	梓設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

環境品質 Q

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レダ-チャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.1

### LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 「人・環境・歴史・安心」をつなぐ庁舎をコンセプトとした越谷市役所新庁舎の増築計画です。周辺の水辺環境を生かした水郷テラスや多目的に使えるみんなのひろば等、市民新たな憩いの場を創ります。また、免震構造の採用やインフラの多重化により、市の防災拠点として市民の安全を守ります。	<b>その他</b> 宿場町の特徴である格子戸と接客空間である「みせ」の領域を継承し、待合スペースに「みせの間」を計画しています	
<b>Q1 室内環境</b> 間仕切りや柱のないワンルームの執務空間により、フレキシブル性の高い計画としています	<b>Q2 サービス性能</b> 免震構造や執務室の無天井化により、安全・安心な庁舎としています	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 広場や植栽の配置により、来庁者や地域に開放した計画としています
<b>LR1 エネルギー</b> 床吹出し空調により効率よく快適な執務環境を実現しています 方位に適した外装による日射負荷抑制を図っています	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型衛生器具の採用、井水利用設備の設置をしています	<b>LR3 敷地外環境</b> 元荒川、葛西水ウッドデッキと連携した、市民の憩いの場「水郷テラス」を計画しています

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS  
越谷市役所新庁舎**

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>							<b>3.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-		<b>3.7</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.2</b>	0.15	-	-		<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-		
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	<b>3.0</b>	-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	<b>3.0</b>	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
1.3 吸音	床と天井に吸音材を使用	<b>4.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.6</b>	0.35	-	-		<b>3.6</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 室温		3.0	0.38	<b>3.0</b>	-		
2 外皮性能		3.0	0.25	<b>3.0</b>	-		
3 ソーン別制御性		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-		
2.3 空調方式	床吹出空調の採用	<b>5.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-		
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	-	-		<b>3.6</b>
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	-	-		
1 昼光率	昼光率2.3	<b>4.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-		
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	-		
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-		
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光制御	ブラインドと庇により昼光制御	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-		
3.3 照度	執務室の照度を750Lx以上に設定している	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-		
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-		
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.3</b>	0.25	-	-		<b>4.3</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	建材はF を全面的に採用、VOCについても測定を実施	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-		
4.2 換気		<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 換気量	30m <sup>3</sup> /h・人を確保	<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
2 自然換気性能	窓は開閉可能で自然換気有効開口面積は床面積の1/17確保	<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
3 取り入れ外気への配慮	外気取入位置と排気位置を十分に離隔している	<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-		<b>3.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40	-	-		<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.3</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
2 高度情報通信設備対応	OA 電源容量を70VA/m <sup>2</sup> 、複数の通信回線の引込への対応	<b>4.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
3 パリアフリー計画		<b>3.0</b>	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観	執務室の平均天井高さ3.29m	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-		
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース1.9%+自動販売機の設置	<b>5.0</b>	0.33	-	-		
3 内装計画	越谷宿のモチーフである縦格子を取り込んだデザイン	<b>5.0</b>	0.33	-	-		
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>4.3</b>	0.30	-	-		<b>4.3</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>5.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	重要度係数 類(1.5倍)	<b>5.0</b>	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能	免震構造を採用	<b>5.0</b>	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.4 信頼性		<b>4.8</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備	熱源種の分散化、空調換気の系統分け	<b>5.0</b>	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備	節水器具の採用、井水の利用、受水槽の2槽化等	<b>5.0</b>	0.20	-	-		
3 電気設備	非常用発電機の設置、受変電設備の屋上設置、電力の2引込	<b>4.0</b>	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法	特定の施設として、耐震条件を設定	<b>5.0</b>	0.20	-	-		
5 通信・情報設備	通信手段多様化、ケーブルTV・防災無線対応、MDF等は6Fに配置	<b>5.0</b>	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.17	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.2</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	OAフロアの採用、ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>4.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		越谷宿のモチーフである縦格子を取り込んだデザイン	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		水郷テラスによる内外を連携させる庇空間	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI = 0.94	<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		井水熱利用ヒートポンプの採用	<b>4.0</b>	0.10	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 1.01	<b>1.9</b>	0.50	-	-	<b>1.9</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
<b>1.1 節水</b>		節水コマの器具を採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑用水を利用している	4.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.60	-	-	<b>3.8</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		タイル、ビニル床シート、大便器	5.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		OAフロアの採用、躯体と仕上げ材は容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>4.3</b>	0.20	-	-	<b>4.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		有害物質を含まない接着剤、塗床、EP塗装、目地材の採用	<b>5.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンの現場発泡ウレタンを使用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場、駐輪台数の確保 渋滞緩和のための出入口設定	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満足、屋外広告物なし	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要			
建物名称	越谷市役所新庁舎	BEE	1.5
		BEEランク	

2 重点項目の評価			
ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア	
2.9	+	3.0	= 5.9
			
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上
	 	  	   

3 重点項目についての環境配慮概要			
<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	2.9
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	2.9
< 配慮した内容を記述 >			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 >			

: 入力欄